

平成28年2月2日  
参事官(グローバル戦略)

## 第3回 カンパニー・ツアーの開催結果について

国土交通省は、1月27日(水)にアジア5カ国の在京大使館や在京政府系機関等を対象とした「カンパニー・ツアー」を実施し、「質の高いインフラ」の事例として、パナソニック(株)と藤沢市やパートナー企業との官民一体の共同プロジェクト、「藤沢SST(サステイナブル・スマートタウン)」を紹介しました。

国土交通省は、我が国インフラ関連企業と連携し、我が国のインフラシステムの海外展開を促進するため、情報発信力の高い各国在京大使等に我が国の「質の高いインフラ」等を紹介する「カンパニー・ツアー」を開催しております。

この度、「質の高いインフラ」の要素の1つである「持続可能性」をテーマとし、我が国におけるスマートシティの代表的な開発事例である藤沢SSTを紹介する「カンパニー・ツアー」を開催しましたので、その結果概要をお知らせいたします。

国土交通省は、今後も我が国の優れた都市・住宅開発、まちづくりの事例を国内外で発信してまいります。

### 記

#### 1. カンパニー・ツアー概要

- (1) 日 時:平成28年1月27日(水)13:30~17:00
- (2) 場 所:神奈川県藤沢市 藤沢SST
- (3) 出席国・人数:5カ国・14名(インドネシア、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシアの在京大使館、在京政府系機関(IES、Vietnam Trade Office)等)

#### 2. 結果概要

ツアー冒頭で、国土交通省より我が国が提唱する「質の高いインフラ」を構成する要素等について説明した後、藤沢SSTのコンセプトや概要を紹介しました。藤沢SST内の視察では、街のエネルギー全体の利用率や街の見守りカメラ映像をモニターで確認できる設備の見学を行いました。モデルハウス内では、各家庭のテレビで住民同士の交流を促進するポータルサイトを活用したサービスや、宅内のエネルギー使用の状況がリアルタイムで把握できる設備を中心に視察を行いました。また、電気自動車や電動自転車のシェアリングサービスなど、ハードのみならず、様々なソフト面のサービスに参加者から、関心が寄せられました。

視察後の質疑応答では、各施設や技術等に関する質問や、藤沢SSTをはじめとするスマートシティを海外展開する際の課題など、各国参加者、国土交通省及びパナソニック(株)による活発な意見交換が行われました。



(エリア内の視察中の様子)



(セキュリティ管理システムの説明の様子)



(モデルハウス内の視察の様子)



(意見交換の様子)

問合せ先：国土交通省総合政策局国際政策課  
武下、宇佐見（内線25224）

TEL：03-5253-8111（代表）

03-5253-8316（直通）

FAX：03-5253-1562